

令和8年度 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはくむ 学校方向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざすことも像
 ○自分の考えを伝え合い、学びを深め、その知識を活用することができる子 ○互いに認め合い 協力し合う子 ○自他の体を大切にし 健やかにたくましい子

堺市立 百舌鳥小学校
 校長 池田 毅

【学校教育目標】 「郷土百舌鳥を愛し、心豊かにたくましく生きていく児童の育成」
 【令和8年度 重点目標】 安全・安心な環境の下、「自分大好き！友だち大好き！百舌鳥大好き！」、それぞれのゆめの実現に向けて、たくましく生き抜く、「知・徳・体」のバランスのとれたもずっ子を育成する。
 (1)「総合的な学び」の育成 (2)友だちの良さを認め、自分を大切にする子の育成 (3)体力の向上と健康的な生活習慣の確立 (4)郷土百舌鳥を愛する子の育成
 【めざす児童像】
 (よく考える子)自らよく考え、学び続ける (助け合う子)自分大好き！友だち大好き！百舌鳥大好き！ (たくましい子)笑顔で「おはよう」笑顔で「明日また」

確かな学びの現状 (各種調査結果より分析)
 授業に対する「自分にあった学び方」で学ぶことができるようになった児童が9割を超えた一方で、「課題解決に向けて自分で考えたり、工夫して発表したりする」に対して肯定的に答えた児童は全国や大阪府に比べ低く、「自分で学習する」という意識には、課題があることが分かった。
 読書については、1日に2時間以上読む児童が一定数いるのに対し、「全く読まない」と回答した児童が9割を超えており、読書習慣の定着に向けた家庭学習と連携した取り組みが求められる。
 ICT機器に関しては、「スライドを作ったり、自分の考えをまとめたりできる」と回答した児童が多かったが、友達と情報を共有したり、情報を伝える相手に応じて選択するなど、目的に応じたICTの活用には課題が見られた。

豊かな心・健やかな体の現状 (各種調査結果より分析)
 自己肯定感や道徳的意識に関する項目では、全国平均と比べて大きく上回る結果が出ており、前向きな姿勢や価値観の形成が進んでいると評価できる。また、「いじめは絶対にいけない」という意識も高く、道徳的な知識や意識は身につけていると考えられる。(6)先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますかでは90%、(10)困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますかという質問には、あてはまると回答した児童が46.6%と、どちらも大阪府や全国に比べ、大きく上回っており、信頼関係があることがわかった。
 友人関係の満足度や幸福についても高い水準が見られる一方で、(12)学校に行くのは楽しいと感じている割合は否定的な回答が17.6%と、大阪府や全国より3%高かった。

大項目	中項目	具体的取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)	
							自己評価	学校関係者評価
確かな学び	何を学ぶか	適切な教育課程の編成・実施	学習指導要領の学習内容を踏まえた年間指導(詳細)計画の作成・実施	「学習指導要領に沿った学習指導が年間指導計画に従って行われている」	教職員へのアンケート	6・11・2月		
		教科の系統性を押さえた縦につながる学習指導の充実	算数科の系統性とながらに重点を置き、教材研究と授業づくりについて全教職員で研修の推進	校内研修により、教科の系統性についての理解が深まった	教職員へのアンケート	6・11・2月		
		教科横断的な指導の充実	各教科・領域の特性や系統性を踏まえ、生きて働く知識・技能、未知な状況で活用できる思考力・判断力・表現力を育成	これまで学習したことを生かして学習課題を設定したり、問題の解き方を考えたりすることができる	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月		
	どのように学ぶか	「百舌鳥スタンダード」を活用した授業改善	「百舌鳥スタンダード」を踏まえた学びの質や深まりを重視した授業改善	「百舌鳥スタンダード」を活用して意見交換を、授業改善について学年団で取り組んでいる	教職員へのアンケート	6・11・2月		
		自分の思いを表現する	★外国語科において、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする活動の充実	「英語で話したい」の肯定率の向上	児童へのアンケート	6・11・2月		
		ノート指導と板書の構造化	自分の思考の過程を整理し、深めるための構造的なノートづくりを意図して授業を行う	「算数の授業で問題の解き方や考え方をノートに書いている」	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月		
	何ができるようになるか	基礎的・基本的な学力の定着	・児童の学力・学習状況を把握し、基礎学力の向上のための授業をデザインする。	・めあてと手だてを明確にした授業・良質な体験活動(言語・身体)を取り入れた授業・算数の授業では、今日の学習を振り返り練習問題に取り組む時間を確保	教職員へのアンケート	6・11・2月		
家庭学習習慣の形成	家庭読書を進め、自主学習ノートの低・中・高学年ごとに取組例を示し、学び方を伝えることで、自らの学びを選択し、自律的に学びをすすめる力を養う。	・学校図書館を利用し、家庭での読書をしている・自主学習などの家庭学習において、自分にあった学習内容・方法を選ぶことができる。	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月				
ICTの活用	ノートとICTのそれぞれのよさを生かし、自分の考えを整理し表現するツールとして、積極的に活用することができる。	・週1回以上家庭に持ち帰り、家庭学習に活用している。	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月				
豊かな心・健やかな体	豊かな心	教育活動全体を通して、多様性を認め合い、お互いを尊重する人間関係の構築	・考え議論する道徳の実践 ・児童が安心して過ごせるための生徒指導体制の構築 ・全校朝会での指導講話を、継続的・系統的に実施	・「道徳の学習は大切か」の肯定率の向上 ・「自分によいところがありますか」の肯定率の向上	児童へのアンケート	6・11・2月		
		●いじめ防止基本方針に基づいたいじめの未然防止・早期認知・早期対応(アンケートの活用・対策委員会による組織的対応) ●特別支援教育への理解に基づいた、児童・保護者の思いに寄り添った相談体制の構築	・「いじめはゆるさない」の肯定率の向上 ・「周りに困っている人に行きたくないか考える」の肯定率向上 ・「悩みを聞いてもらえる」の肯定率の向上 ・「教育相談の体制が整っている」の肯定率向上	児童・保護者へのアンケート	6・11・2月			
		●学校行事や児童会活動において、清掃活動やあいさつ運動、仲間づくりをねらった取り組みを充実	・「相手の気持ちや状況を考えて行動」の肯定率の向上 ・「近所の人にあいさつ」の肯定率の向上 ●「掃除の時間は黙って『最後まで』取り組んでいる」の肯定率の向上	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月			
健やかな体	健やかな体	体育指導・保健指導・食育を通じた、健やかな体の育成	体育指導における運動量の確保と系統的な指導の充実 ★保健指導及び歯育を通して、自らの生活習慣を整えようとする意識の向上 ・食育指導を通してバランスのよい食事摂取の必要性の理解を図る	・「体を動かすことが好き」肯定率の向上 ・「体育でどうすればうまく走りくすスポーツができるかを考えることができる」の肯定率の向上 ・「自分の生活(睡眠・食事・生活習慣)を見直し、よりよくしようとするところがある」の肯定率の向上	児童・教職員へのアンケート	6・11・2月		
		地域連携	学校群連携・地域との連携・専門機関との連携 学校協議会を活用し、本校の取り組みに対する効果的な助言を適宜受け、学校運営に生かす。 ホームページ・学校だよりを通して、広く地域・保護者への情報提供を図る。	地域行事(百舌鳥八幡祭り・桜南フェスタ・北区交流祭りなど)に参加し、地域資源を生かした教育活動につなぐ。 学校協議会の持ち方を工夫し、委員の意見を学校運営に生かしている。	教職員アンケート	2月		
地域連携	地域連携	学校協議会の開催により社会に開かれた学校づくりの推進	ホームページ・学校だよりを通して、広く地域・保護者への情報提供を図る。	学校協議会の意見聴取	学期に1回			
		保護者への情報提供	保護者アンケート	11月				
校長より(年度末)						学校関係者評価者から(年度末)		